

JABM の更なる 安定成長を祈念して

JABM 名誉会員 原田 英樹



B M 協会にはその設立創業の時（1982年）から本年まで実に 40 年近くお世話になりました。ありがとうございました。最近では退職（1995 年）後設立した個人会社 H T A (High Tech Associate) もクローズし、85 年間たまった 400Kg を越える書類や数百冊の本の整理を始めました。色々の仕事を辞めましたので、時間がたくさんでき、宇宙、地球、生命などの誕生や人体の構造、また歴史小説なども多く読んでいます。生命の歴史解明や脳の構造解析などが、1995 年頃から急速に発展しましたが、その発展を科学会のベテランの会長などのため 3、40 年阻害された事実を知り、老害の恐ろしさを改めて深く感じます。我が協会でも私の話が老害にならないよう気を付けながら話を進めます。

私の協会運営の基本は、「協会に所属する会社、個人の役に立つ協会である」ことです。そのため協会は独立運営、誰か外の方に支配されないことが重要です。そのため運営は黒字化しなければなりません。私が会長を引き受けた時は、赤字幅が大きく、外部団体に依存したり、当時の通産省の援助を期待したりする状況でした。これをきっぱりと断切り、黒字化自主運営を確立したのです。そのポイントは次の通りで、現在も正しいと信じております。

- (1) 最適な幹部による運営：能力ある会長、専務理事などの適正な人事、持ち回りや退職者の閑職で無い。
- (2) 最小人員による運営、事務は徹底的に合理化、自動化する。基本的にはボランティア。
- (3) イベント毎の採算を取る。決算の明確化。
- (4) 不明瞭な会計の排除。領収書のない支出排除。
- (5) 交際費の適正な管理。会議の後の会食は協会では支出しない。

(6) 便利で安全な独立事務所取得。

次に展開する技術の幅を、ボンド磁石材料に限定せず、幅広くあらゆる磁石材料に広げ、且つ原材料、応用品、測定技術、製造設備まで含めることにしました。

更に最近になって会員を増やすため磁石ばかりでなく、作戦分野を特殊磁性材料に広げ、ソフトフェライト、アモルファス、圧粉磁心なども新活躍分野に入れました。

協会のタスクとして、新技術、新材料の啓蒙、普及、また生産動向のまとめ（生産統計）、および測定、材料の標準化の 3 重要課題としました。

新技術の啓蒙、普及は技術委員会で議論し、最新の興味ある話題を、企業 P R も含めて、春、秋の技術例会および国際的に最も暇になる 1 2 月第 1 週の金曜日に、国際シンポジウムを開催することにしました。また工場や研究所見学を年に 1 回は実施するようにしました。2 回の中国磁石工場見学や 2 回の自動車会社の訪問など、参考になったと思います。

生産統計の作成は非常に困難な作業です。創立当初通産省はボンド磁石を無視していましたので、何としても我々の手で生産統計を作成しようと努力しました。企画委員会の最大のタスクとして、各社の協力を仰ぎました。社名を伏せ、専務理事のみの作業で数字をまとめることにして作業を進めました。フェライトや希土類原料メーカーからの生産数字は確実にいただけましたので、ボンド磁石の生産量の不正確さを補うことが出来ました。企画委員会での生産動向の議論や国際シンポジウム前日の国際マーケットディスカッションで世界のボンド磁石の生産動向を作成しました。1990-2000 年頃は、私の友人の元 GE、HMC の Bill Hart やイギリスの磁石応用技術者 John West を呼び、助けを借り、世界の生産統計をまとめました。またアメリカの Permanent

Magnets Association との交流で、North Carolina Hilton Island で行われた協会総会に、メイトの石田さんと参加し、情報を得、またゴルフで懇親を深めました。業界の大先輩 Port Wheeler もシンポジウムに参加し「Vision」の大切さを力説されたのを良く覚えています。しかし 2000 年頃から欧米での磁石の生産が減少し、中国、東南アジアをまとめれば良くなりました。中国の技術および市場は Luo Yang 教授によって明確に把握することが出来ました。最近では Luo Yang も日本に來れなくなり情報が途絶えて来ています。若手の発掘に期待致します。また昨年、インドや国内のマーケットリサーチ専門業者との付き合いも成功し、ボンド磁石ばかりでなく、新たに加わった圧粉磁心の生産動向まで把握できるようになってきました。これも安定経営の成果の一つで、すばらしい発展です。

技術の標準化は技術委員会のご努力で、磁気測定用標準磁石の作成、ボンド磁石の測定マニュアルなどが完成し、また更新も進み、大きな成果を上げております。熱心な委員会の運営に熱く感謝しております。国内および中国で磁気測定用標準磁石が広く利用されているのは我が協会の誇りです。

協会の運営は非常に安定しました。正しいと思われるボンド磁石やソフト材料の生産統計も発表出来るようになりました。技術例会および国際シンポジウムも盛況です。標準磁石も世界標準磁気測定に貢献しています。

今後協会の更なる活性化、発展に何をすべきでしょうか。

私は次のように考えます。

- (1) 自動車の電動化、自動運転、省エネなどの動向にマッチした技術に関連した課題の導入。
- (2) 健康寿命 100 歳、更に 150 歳に役立つ医療、介護に関連する技術課題への挑戦。
- (3) 地球にやさしい、環境をより安全に、より温和にする技術への挑戦。
- (4) 政治の圧力に負けない真の国際協調、交流の確立。

等です。何れも大変難しい課題ですが、是非一歩一歩進めて下さい。

なおこれは比較的簡単なお願いですが、発表用プロジェクトを光投影から、LED デジタル微細鮮明な投影発表に、我が協会が先行して近い将来導入されることを期待しております。